

2015年8月6日

報道関係各位

株式会社セブン&アイ・ホールディングス  
日本電気株式会社

**セブン&アイ・ホールディングスとNEC、  
国内最大規模 3,380 台の EV・PHV 用充電インフラを導入  
～全国 45 店舗のイトーヨーカドー、Ario、そごう、西武に設置～**

株式会社セブン&アイ・ホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 最高執行責任者<COO>：村田紀敏、以下 セブン&アイ・ホールディングス）と日本電気株式会社（本社：東京都港区、代表取締役 執行役員社長：遠藤信博、以下 NEC）は、全国 45 店舗の「イトーヨーカドー」「Ario」「そごう」「西武」に合計で 3,380 台の電気自動車 (EV)・プラグインハイブリッド自動車 (PHV) 用充電器を設置し、有料充電サービスを提供します。

本取り組みは、国内最大規模の EV・PHV 用充電器導入事例となります。また、本サービスは 2015 年 11 月以降、充電器を設置完了した店舗から順次提供開始を予定しています。

今回 EV・PHV 用充電器を導入する総合スーパーや百貨店は、利用者の滞在時間が長く、日常生活で頻繁に訪れる商業施設です。本取り組みにより、施設の利便性向上・誘客強化を目指すと共に、立ち寄った先でこまめに充電する EV・PHV の利用スタイルの確立や、環境配慮型の次世代自動車の普及促進による低炭素社会の実現に貢献します。

昨今、EV・PHV は大気汚染物質の排出が少ない環境配慮型の次世代自動車として、減税措置及び補助金などによりその普及が進められています。これらの次世代自動車の普及には、充電器をはじめとする充電インフラの整備が不可欠であり、政府の支援のもと、商業施設や公共施設の駐車場での設置が始まっています。

今回、セブン&アイ・ホールディングスは、総合スーパー「イトーヨーカドー」、ショッピングセンター「Ario」、百貨店「そごう」・「西武」の駐車場に、EV・PHV用壁掛け型普通充電器（NEC製）を3,380台設置します。あわせて、複数の充電器の利用者認証や課金管理、監視・制御などを一元的に行う壁掛け型充電コントローラ（NEC製）を設置します。

NECはセブン&アイ・ホールディングスから本充電インフラを借用し、EV・PHV利用者に有料充電サービスを提供します。本充電サービスは、国内自動車メーカー4社が設立した合同会社日本充電サービス（本社：東京都港区）が発行する充電カードやセブン&アイ・ホールディングスの電子マネー「nanaco（ナナコ）」を用いた決済に対応する予定です。

なお、本充電インフラの導入にあたっては、政府による「次世代自動車充電インフラ整備促進事業」の補助制度を活用しています。また、本充電サービスは、リース事業を展開するNECキャピタルソリューション株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：安中正弘）や、EV・PHV向け充電サービスを提供するジャパンチャージネットワーク株式会社（本社：神奈川県横浜市、代表取締役社長：高橋敬一）と連携して実施します。

セブン&アイ・ホールディングスは、世界16カ国と地域にコンビニエンスストアやスーパー、百貨店などの多彩な事業を展開し、地球規模のネットワークを活かして、世界中のお客様に、「新しい価値」を有する質の高い商品・サービスを提供しております。

NECグループは、「2015中期経営計画」のもと、安全・安心・効率・公平という社会価値を提供する「社会ソリューション事業」をグローバルに推進しています。

NECは、充電コントローラのWi-Fi通信機能を活用した自動車・カーナビ向けのネットワーク型情報サービスや、遠隔制御機能を活用した電力ピーク時のデマンド制御連携サービスを提供することを検討しています。こうしたサービスをはじめ今後も、安心・便利で使いやすいEV・PHV用充電インフラの構築

に向けた製品・サービスを拡充し、人々がより明るく豊かに生きる、効率的で洗練された社会を実現していきます。

以上